

参 考 资 料

疾患関連タンパク質解析プロジェクト

アクションプラン

「ゲノム創薬」の国際競争で遅れをとらないよう、産学官の強力な連携のもと、がん、高血圧等の患者と健常人におけるタンパク質の量と種類の違いを同定するための大規模な基盤整備を国家戦略として進めていくことが必要。
(平成15年度)

これまでの進捗状況

平成14年度補正予算に43億円、平成15年度予算に5億円(厚生労働科学研究費)を計上。
平成15年度予算概算要求時の総合科学技術会議による優先順位付けにおいてS評価。

今後の課題・対応方針

平成16年度においても、引き続き、プロジェクトの円滑な実施を図るための予算を要求。
臨床試料の収集・解析を実施するに当たっての適切な手続き及び情報管理体制の整備に向けて医療機関等と調整。